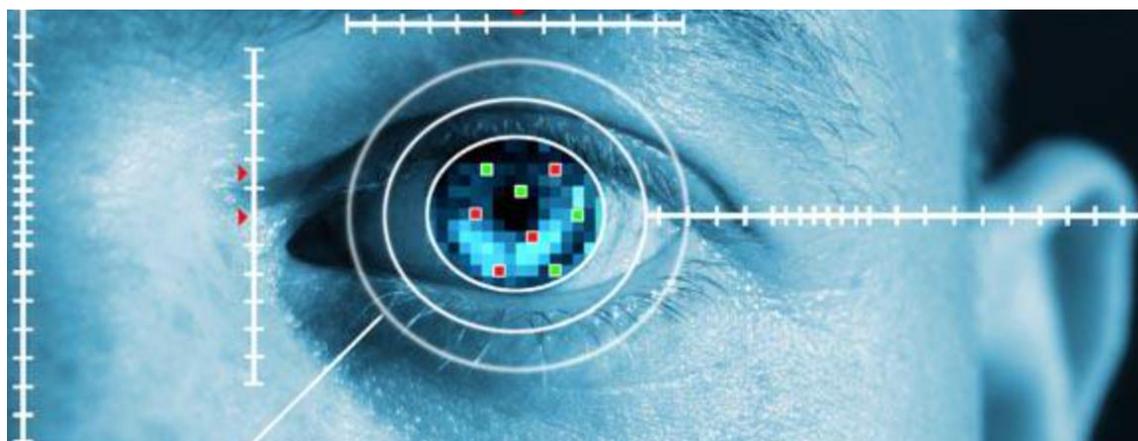
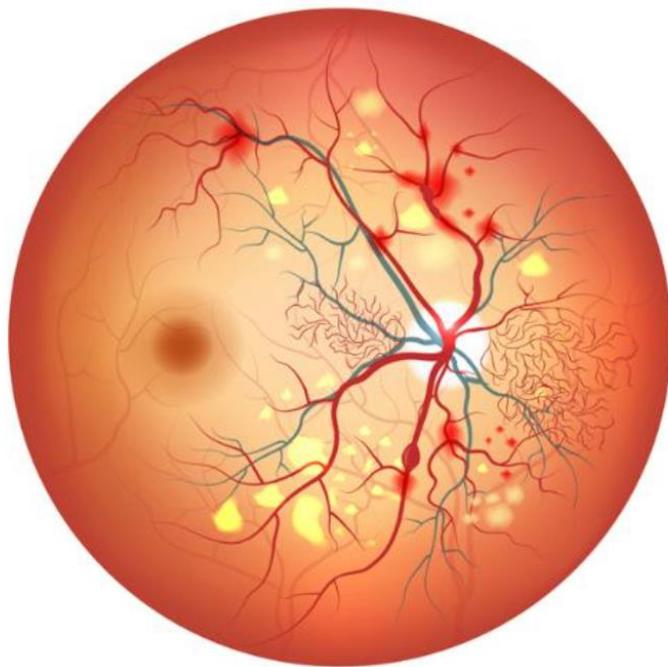


スタチン療法で糖尿病網膜症リスクが低下

台湾研究グループは、約 3 万 8,000 例の 2 型糖尿病患者を対象にしたコホート研究の結果、スタチン投与群では非投与群に比べ糖尿病網膜症リスクが有意に低かったと *JAMA Ophthalmol* 誌に報告しました。



糖尿病網膜症の発症リスクは、スタチン投与群で非投与群に比べ有意に低下し、ハザード比 (HR) は 0.86 (95%CI 0.81~0.91) でありました。さらに、スタチン投与は主要有害イベントのリスク低下にも関連。HR は心血管イベント 0.81 (95%CI 0.77~0.85)、新規発症の糖尿病性神経障害 0.85 (同 0.82~0.89)、新規発症の糖尿病性足部潰瘍 0.73 (同 0.68~0.78) でありました。



スタチン療法は糖尿病網膜症の発症リスク低下と関連し、視力を低下させる糖尿病網膜症の進行を遅らせ、侵襲的治療を減少させることが示唆されました。

